

学 科	両学科	担 当 教 員	全教員			
授 業 科 目	倉敷数学		科目区分	基礎科目	2 単 位	
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期	
授 業 の 主 題 目 標	【授業の主題】 豊かな芸術と文化の街、日本有数の産業都市としての倉敷市（倉敷・児島・玉島・水島・真備・船穂）を学ぶ。 【到達目標】 倉敷市の歴史、文化、産業等についての学びを通して、この地域に対する関心や知識を広げるとともに、地域の魅力づくりや課題解決について考えるために必要な基礎的な力を身につける。					
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 半年間の講義全体の概要やキーワードの解説、授業の魅力と意義、到達目標、成績評価方法などのガイダンス（担当：安達） 2. 日本遺産のまち倉敷。歴史とまちづくり（担当：大原） 3. 倉敷市立短期大学のこれまでとこれから（担当：木戸・濱田） 4. 倉敷市の教育と保育（担当：小久保） 5. 第四次くらしきハーモニープランの概要について（担当：眞次） 6. 倉敷市の福祉（担当：宮崎） 7. 倉敷市の防災（担当：平岡） 8. 倉敷市の姉妹都市(サンクトペルデン、カンザス、クライストチャーチ、鎮江）（担当：長櫓・松浦） 9. 倉敷市の環境学習都市と SDGs（担当：岩崎） 10. 倉敷市の文化（デザイン）（担当：田中・上村） 11. 倉敷市のファッション（写真で見る繊維産地、繊維産地との産学共同研究）（担当：佐藤・道明） 12. 倉敷市のファッション（学生服とジーンズ）（担当：乾） 13. 倉敷市の芸術（担当：浅野・児玉） 14. 倉敷市のアート（担当：趙） 15. 倉敷市の経済（担当：田鹿） ・毎回の授業においてレポートを課す。 ・各回担当教員の判断により、必要に応じて、ゲストスピーカー、ゲストティーチャーを招く場合もある。 定期試験は実施しない					
実 務 経 験 を 活 か す 内 容						
テ キ ス ト 教 材	山下祐介（2021）『地域学入門』ちくま新書 （上記のほか授業内において資料を別途適宜配布することがある。）					
事前学習の内容	授業で扱うトピックに関連する資料を見つけて読んでおく。					
事後学習の内容	各回の授業中に配布した資料を見直しておくこと。					
評 価 の 方 法 基 準	レポート(100%)					
履 修 上 の 注 意	各教員の担当順は都合により変更することがある。 受講生の学修状況や理解度を見て、進度や順序を調整する場合がある。					

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	文学		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	保育2年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 本講義では、代表的な英語文学作品を取り上げて文学独特の表現を学ぶことで英語力向上を図るとともに、各作品の文化的・社会的背景についても考察する。また、作品の世界観を掴むために映像作品を活用して理解を深める。 【到達目標】 ・ 英語文学に関する幅広い知識を習得することができる。 ・ 文学作品の多様な英語表現を理解することができる。 ・ 作家の生い立ちや文化的・社会的背景を理解したうえで、作品を解釈することができる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス / 洋楽の文学的解釈 2. 文学とは？ / ギリシャ神話 3. ジェフリー・チョーサー『カンタベリー物語』 4. ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』 5. ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』 6. ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』と『ライオンキング』 7. 英語俳句 8. 英語俳句の発表 9. マザー・グース 10. 英詩 11. 英詩の発表 12. チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』 13. アーネスト・ヘミングウェイ『雨の中の猫』 14. アーネスト・ヘミングウェイ『雨の中の猫』の創作ライティングの発表 15. まとめ 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	適宜プリントを配布する。 参考図書：石塚久郎他編著（2014）『イギリス文学入門』三修社				
事前学習の内容	文学作品の英文を読み、未知の単語があれば辞書で調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で扱った作家と作品について、配付資料を読み、理解を深めておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	コメントペーパー（30%）、課題（50%）、発表（20%）				
履 修 上 の 意 注	特になし。				

学 科	両学科	担 当 教 員	全 円子		
授 業 科 目	国語表現		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	保育1年次・前期 服美1、2年次・前期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 日本語の変遷についての認識を深め、日々新たに变化する表現を身につける。 【到達目標】 本講義を通して国語表現に対する理解を深め、論理的でわかりやすい文章を書く力とコミュニケーション能力を養う。書きことばの面では、手紙やビジネス文章など実用的な文章の書き方を修得する。話しことばについては、日本語のより良い表現方法を学び実践力を身につける。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 序講・実用的な文章の書き方について 2. リズムと文体 3. 生き生きとした表現 4. メモから原稿執筆まで 5. 手紙の書き方 6. 履歴書・お礼状の書き方(就職活動の準備Ⅰ) 7. ビジネス文章の書き方(就職活動の準備Ⅱ) 8. 説明文の書き方 9. 文章の推敲 10. 実用的な表現の仕方について 11. 話すことについて 12. 敬語の使い方 13. 電話のかけ方と受け方 14. 学習レポート作成 15. まとめ・レポートテスト 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	参考図書 『日本語の作文技術』 (本多勝一、朝日新聞社) 『ホンモノの文章力』 (樋口裕一、集英社新書)				
事前学習の内容	課題とする文章表現について調べる。				
事後学習の内容	講義内容の学習ミニレポートを作成する。				
評 価 の 方 法 基 準	講義の学習ミニレポートなど授業への取り組み(40%) レポート(60%)				
履 修 上 の 注 意	特になし				

学 科	両学科	担 当 教 員	矢吹 香月		
授 業 科 目	日本国憲法		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	保育 必修 服美 選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育1年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	【授業の主題】 日本国憲法が保障している基本的人権について、判例を題材として日常生活の側面からアプローチして基本的な解説を行う。 【到達目標】 ・日常生活における身近な社会問題から、個を尊重し他者も尊重するために必要なルールについて考える力を身につける。 ・現代社会の様々な事象を憲法価値の実現の視点で考えることができる。				
授 業 の 内 容 方 進 め 方	1. ガイダンス 法について 2. 憲法とは(1) 憲法の目的 3. 憲法とは(2) 2つの憲法の間に 4. 日本国憲法を生んだ密室の9日間 (DVD) 5. 憲法と司法(1) 裁判所のはたらき 6. 憲法と司法(2) 違憲審査制について 7. 政治の仕組み・内閣のはたらき 8. 憲法上の人権 9. 憲法と消費者(1) 憲法と民法の関係 10. 憲法と消費者(2) 営業の自由と消費者の権利 11. 憲法と消費者(3) 医療契約から自己決定権について考える 12. 憲法と家族(1) 結婚について考える 13. 憲法と家族(2) 女性の人権 14. 憲法と家族(3) 子どもの人権 15. 人権のまとめ・期末試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『憲法のちから～身近な問題から憲法の役割を考える～』（第2版）中富公一編 法律文化社				
事前学習の内容	教科書該当箇所を読んで、予習しておくこと。				
事後学習の内容	授業中に取りあげた社会問題について調べておくこと。授業中の内容を教科書で再度確認しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	試験 (70%) 授業で提出するレポート (30%)				
履 修 上 の 意 注	中学校・高等学校の社会科を復習すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	秋川 陽一		
授 業 科 目	教育学		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1、2 年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 受講者が自分の受けてきた教育や学びの体験を振り返りながら、「教育とは何か？」について考察することを通して、教育学についての基礎的な知見を獲得することを主題とする。 【到達目標】 「教育とは何か？」についての知見を踏まえ、受講生自らが、自分の今後の生き方と教育・学びのあり方について考え、さらに、将来、おとな（親）として子どもの教育（子育て）に関わる際の重要な考え方や方法を身につける。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. イントロダクション：私たちの「教育」のイメージと「教育」に対する疑問 2. 「教育」の意味を考えるー「教育」の語義から 3. 教育を受ける（＝学ぶ）ことの意義とは？ー「教育基本法」を踏まえて 4. 公教育の場としての「学校」とは？ー現代日本の学校制度の目的を中心に 5. 「学校」の誕生とその歴史的変遷を考えるー「学校」の社会的機能の視点から 6. 「学校教育」に関わる疑問の考察 7. 幼稚園・保育所・認定こども園とは？ーその共通性と差異性 8. 幼児教育・保育の重要課題とは？ー「幼保一元化」「幼小連携」「しつけと虐待」等 9. 子どもにとっての「遊び」の教育的意義とは？ 10. 子どもにとっての「おもちゃ」の意義とは？ー「ぶんぶんごま」の製作を通して 11. 現代の「子ども・子育て支援」とは？ーその必要性・現状・課題 12. 「子どもの権利条約」とは？ー「子どもの権利」保障の視点からの子どもへのかかわり方 13. 「こども基本法」の精神とは？ー子どもの意見表明権の尊重 14. 近未来の「教育」の潮流（改革の方向性）を考える 15. まとめ 定期試験は実施しない（終講レポートを課す）				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	テキストは使用せず、毎回、講義レジュメ・資料等の教材を配付する。 参考書として、以下の文献を推薦する。 汐見 稔幸『教えから学びへー教育にとって一番大切なこと』河出新書（河出書房新社） 大田 堯『教育とは何か』岩波新書【新赤版】（岩波書店）				
事前学習の内容	事前配布資料を読み、概要を把握しておくこと。				
事後学習の内容	毎回の授業中にとった「メモ」を振り返り、電子データで配付されたレジュメを活用して（各自で印刷するなどして）「ノート」としてまとめること。				
評 価 の 方 法 基 準	・「(自分の受けてきた) 教育・学びの年表」の提出 (20%) ・終講レポート (80%)				
履 修 上 の 意 注	配付された講義レジュメ（電子データを含む）は、無断で他者に譲渡することは控えてください。				

学 科	両学科	担 当 教 員	土肥 直樹		
授 業 科 目	生命科学		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	保育1年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 身近な事例をもとに自分の健康や自然環境についての知識を深め、社会や個人のレベルで考え行動する力を身につける。 【到達目標】 ・動物の行動の意味やヒトのからだや病気について興味をもって学習することができる。 ・再生医療や宇宙開発などの最先端の科学について関心を持つことができる。 ・自ら情報収集をすることで主体的な学びの態度を身に着ける。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. オリエンテーション、本講座で学習すること 2. 刺激反応系と受容器、効果器の役割 3. 動物の神経系 4. 動物の行動①（生得的な行動） 5. 動物の行動②（習得的な行動） 6. 動物の行動③（野外実習）※野鳥観察 <レポート提出> 7. ヒトのからだと病気① 8. ヒトのからだと病気②（施設見学） <レポート提出> 9. ヒトのからだと病気③（講演ビデオ視聴） <レポート提出> 10. 遺伝のしくみ 11. 発生と再生 12. 生物の多様性 13. 岡山の自然と環境問題 14. 宇宙開発とヒト（VTR） <レポート提出> 15. まとめ、定期試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	与えられた項目について各グループ（3～5 人を想定）が調べた内容をスライドで作成する。これがテキストとなる。 参考書：石浦章一『小説みたいに楽しく読める生命科学講義』羊土社（購入する必要なし）				
事前学習の内容	授業時に与えられたテーマについて各グループが情報収集を行い、プレゼンにまとめ、発表を行う。そのため、基本的には準備学習は不要。その他、必要な連絡はClassroomで行う。				
事後学習の内容	授業時間の最後（またはその日のうち）に授業の振り返りを行い学習を深める。				
評 価 の 方 法 基 準	授業の振り返りの提出（30%）、課題レポート（20%）、定期試験（50%） ※授業の振り返りでは担当した内容の問題作成を行い、それを集めた問題集から定期試験で出題する。				
履 修 上 の 注 意	野外実習、現代医学博物館等の学外施設見学を実施する予定である。別の曜日及び時間帯に設定する可能性がある。施設見学は、現地集合現地解散、交通費等が自己負担となる可能性がある。				

学 科	両学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	数学		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	2 年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	【授業の主題】 数学検定の問題を考えながら、数学の基礎的な知識を学習する。 教養としての数学を概観する。 数の概念の拡張（負の数、実数、複素数）を通じて、数学的な発想法について考える。 【到達目標】 ・編入試験条件として数学検定準2級（高校1年生程度）以上の取得を目指せるようにする。 ・公務員試験・SPI試験等の就活試験対策に各自が取り組めるようにする。 ・高校数学の基礎事項について理解し、データサイエンスの数学基礎の学習に進めるようにする。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 数学検定 第1回 準2級1次(計算技能検定)問題 2. 数学検定 第1回 準2級2次(数理技能検定)問題 3. SPI3 問題(場合の数・確率) 4. 数学検定 第1回 3級1次(計算技能検定)・2次(計算技能検定)問題 5. Excel での論理計算演習 (IF 関数・AND 関数・OR 関数) 6. 数学検定 第2回 準2級1次(計算技能検定)問題 7. 数学検定 第2回 準2級2次(数理技能検定)問題 8. 数学検定 第3回 準2級1次(計算技能検定)問題 9. 数学検定 第3回 準2級2次(数理技能検定)問題 10. Excel での論理計算演習 (VLOOKUP 関数とデータベース) 11. 数学検定 第4回 準2級1次(計算技能検定)問題 12. 数学検定 第4回 準2級2次(数理技能検定)問題 13. 数学検定 第2回 3級1次(計算技能検定)・2次(計算技能検定)問題 14. まとめ・試験1【範囲: 準2級1次・2次(第1回・第2回)・3級1次・2次(第1回)】 15. まとめ・試験2【範囲: 準2級1次・2次(第3回・第4回)・3級1次・2次(第2回)】 定期試験は実施しない。 受講生の学修状況や理解度を見て進度や順序を調整する場合があります。 【授業の進め方】 ・準2級・3級数検の過去問題に取り組み解答を試みてもらいます。 ・ヒントと解説を行います。 ・解答例を確認します。 ・解答例も参考に各自解答を仕上げます。 ・授業で行った問題について準2級・3級の範囲で試験を行います。 ・SPI3 問題を考えることで実務的な計算を演習します。 ・エクセルでの論理式の演習を行います。				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	実用数学技能検定 過去問題集 数学検定準2級：公益財団法人 日本数学検定協会（編集）(教科書)				
事前学習の内容	高等学校での数学Ⅰ、数学Aの教科書を復習しておくこと。 予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	「課題」に対して論理的な解答を作成すること（10%） 「課題」の提出（10%）、レポート課題（20%）試験（60%）				
履 修 上 の 注 意					

学 科	両学科	担 当 教 員	澤田 陽一		
授 業 科 目	心理学		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	保育2年次・後期 服美1、2年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 心は実体ではなく、身体とそれを取り囲む環境を場として働く機能である。これを踏まえ、本講義では様々な視点から、心にまつわる主要な知見を紹介し、社会を客観的に捉えられる視点を養う。 【到達目標】 ・様々な心理学の知見を通して、人間を多方面から理解する。 ・科学的な心理学の知見を理解し、実生活に位置づける。 ・心理学という学問を好きになる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 心理学事始 ・オリエンテーション ・心理学とは何か 2. 心理学の歴史 ・古代/中世の心理学 ・近代以降の心理学 3. 感覚・知覚・認知 ・表象とは何か ー世界を把握するプロセスー 4. 記憶と学習 ・記憶の種類とメカニズム 5. 言語 ・言語の機能 ・思考／知能との関係 6. 情動/感情 ・情動/感情の役割 ・情動/感情の諸理論 7. パーソナリティ ・パーソナリティを捉える方法 ・対人認知と印象形成 8. 発達Ⅰ：他者意識の発達 ・人間の発達の特殊性 ・他者身体の獲得と模倣行動 9. 発達Ⅱ：自己意識の発達 ・身体的自己からメタ認知へ 10. 社会的影響 ・集団から影響を受ける個人の特徴 11. 心の臨床と健康 ・精神障害 ・ストレス理論と健康 12. 脳と心 ・脳から見た行動（心理） 13. 社会の中に潜在する共通心理 ・損失の過大視と社会的行動 14. 不思議現象を信じる心 ・強固な信念を作り出すメカニズム 15. 総括・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	指定のテキストはなく、毎回オリジナルプリントを配布する。 参考図書として『ヒルガードの心理学 第16版』を挙げるが、あくまでオリジナルプリントを活用する。				
事前学習の内容	シラバスに記載されている講義内容に関する項目・キーワードの概要を事前に調べておくことが望ましい。				
事後学習の内容	本講義では非常に多くの専門用語が提示されるため、それらを定着するために図書館やインターネット等を活用して復習することが必要である。				
評 価 の 方 法 基 準	原則、試験（100%）のみで評価する（状況に応じてオンラインによる試験にすることがある）。				
履 修 上 の 注 意	私語厳禁。 講義で扱う専門用語が少なくないため講義外での復習が必須である。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	田鹿 絃			
授 業 科 目	経済学入門			科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期	
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 消費は我々の日常生活の中心となるもので、それ無しには生活することができない。また、社会人となった場合には消費者に対して製品を提供する側となる。この講義では消費に関する問題を学ぶ上で必要な経済理論や時事問題を学んでいく。またできるだけ現実的な事例を多く用いながら解説を行っていく。 【到達目標】 身近な現象を需要曲線と供給曲線を用いて説明するための基礎的な知識を有している。少子化、高齢化、グローバル化が経済に与える影響についての知識を有しており、対応策について説明することができる。					
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 経済学とはどのような学問か 2. 効率と公平 3. 希少性と資源分配 4. 需要曲線 5. 供給曲線 6. 均衡、弾力性 7. 曲線のシフトと均衡の変化(1)理論の説明 8. 曲線のシフトと均衡の変化(2)作図の練習 9. 売り手と買い手の情報格差 10. 人口構造の変化と経済 11. 高齢社会と経済・社会保障 12. 為替レートと貿易 13. グローバル化と消費経済 14. 経済政策 15. 授業全体のまとめ・試験					
実 務 経 験 を 活 か す 内 容						
テ キ ス ト 教 材	テキストは使用しない。プリントを配布する。 【参考文献】 関谷喜三郎・高木聖『楽しく学ぶ消費経済』創成社 伊ヶ崎大理・大森達也・佐藤茂春・内藤徹『スタートダッシュ経済学』勁草書房					
事前学習の内容	経済に関する新聞記事に目を通しておく。事前に指示した内容について参考書や web で調べ、概要を把握しておく。					
事後学習の内容	講義ノートや配布資料を見直し、知識を整理する。また、アイデアをノートにまとめておく。					
評 価 の 方 法 基 準	期末試験（80%） 不定期で実施する小テスト・小課題の達成度（20%）					
履 修 上 の 注 意						

学 科	保育学科	担 当 教 員	岩崎 之勇（実務経験あり）		
授 業 科 目	経営学入門		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 経営学に関する基礎的研究、及び経営学に関する基礎的事例研究について理解する。具体的には、企業の経営戦略、経営管理、人的資源管理、会計・財務、生産・研究開発、マーケティングなどの主要論点を学ぶ。 【到達目標】 ・経営学の全体像を理解する。 ・経営学で用いられる基本的用語を理解する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 授業概要・ガイダンス 会社の経営とは 2. 経営戦略(1) 会社はどのような方針で動くのか 3. 経営戦略(2) 会社はどんな仕組みで動いているのか 4. 経営戦略(3) 会社はどう競争するのか 5. マーケティング(1) 会社はどのようにモノを売るのか 6. マーケティング(2) 会社はどのように市場を理解するのか 7. 経営管理と組織(1) 会社はどのように管理されるのか 8. 経営管理と組織(2) 会社はどのような組織なのか 9. 人的資源管理(1) 社員はなぜ働くのか 10. 人的資源管理(2) 社員はどのように報酬を求めるのか 11. 生産管理 会社はどのようにモノを生産するのか 12. 製品開発 会社はどのように製品を開発するのか 13. 会計 会社はカネをどう管理するのか 14. 企業倫理 会社はどんな社会的責任があるのか 15. まとめ・試験 これまでの授業内容				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容	一般企業での実務経験を活かし、上記授業内容に関して実業界での具体的な応用例など、仕事現場での「リアル」に重点を置いた実践的教育を行います。				
テ キ ス ト 教 材	井原久光（編）2016、『経営学入門・キーコンセプト』ミネルヴァ書房				
事前学習の内容	授業の中で、特に調べてくる事項についての調査を求める場合がある。				
事後学習の内容	各回授業で進んだ教科書範囲、配った資料類を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	試験(80%)と中間レポート(20%)により評価する。				
履 修 上 の 意 注	理解を助ける上で、経済学入門（1 年次・前期）を併せて受講するのが好ましい。				

学 科	両学科	担 当 教 員	前田 吉広		
授 業 科 目	キャリアデザイン		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 これからの社会を“自分らしく”生きるために、自らのキャリアに責任を持ち、主体的にデザインする力を養う。また、「社会人基礎力」を実践的課題とアクティブラーニングを通じて身につける。 【到達目標】 ・自身で目標を設定し、それを達成するための計画を立て、行動することができる。 ・自らの行動に対して客観的な視点から評価ができ、行動を改善することができる。 ・自身の“ありたい姿”に近づくために、他者からの意見を取り入れて活用できる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. はじめに、キャリアデザインとは？ 2. “大学生”って何？(1)高校生との違い、就活シミュレーションワーク(前半)、課題1の発表 3. “大学生”って何？(2)教わると学ぶ、将来の姿を考える 4. はたらく意味を考える(1)何のために働くのか、個性を知る 5. はたらく意味を考える(2)多様な働きかた 6. 課題1の相互評価ワーク、課題2に向けて 7. キャリアについて考える、授業の意味を再考する 8. 自分の軸を考える、生まれ育ったところを知る 9. ライフロールを考える、自己PRを考える 10. 課題2の相互評価ワーク、課題3に向けて 11. キャリアプランを作成する(1)準備 12. キャリアプランを作成する(2)実践 13. 職業について考える 14. 課題3の相互評価ワーク、就活シミュレーションワーク(後半) 15. 振り返り、まとめ 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	必要に応じて、資料などを配布する。 参考書：『キャリア基礎講座テキスト 第2版』新井明 玄田有史（日経BP）				
事前学習の内容	目標設定した課題に取り組み、進捗チェックワークの準備をすること。				
事後学習の内容	授業中のノートを見直し、学習した内容を課題の実行に反映させること。				
評 価 の 方 法 基 準	リフレクション（60%）、課題報告レポート（40%）				
履 修 上 の 意 注	積極的な授業参加を期待します。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報機器の操作 I		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	【授業の主題】 オンライン講義で課題提出と提出確認ができるように講義する。 Google Workspace の基本アプリの PC とスマホでの利用を講義する。 Windows とワード・エクセル・パワーポイントの基礎を講義する。 【到達目標】 ・ オンライン授業における課題提出・受講方法を習得する。 ・ 実習を通してワード、エクセル、パワーポイントの操作法を習得する。 ・ 情報倫理を理解する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	受講生がパソコンを実際に操作しながら、Windows、ワード、エクセル、パワーポイント、インターネット、電子メール等の基本操作に精通するように指導する。 1. PC へのログイン、Google Workspace/Google Classroom 2. Windows ファイル操作、USB メモリ保存/タッチタイピング 【情報倫理 1】オンライン授業での心がけ（録画・スクショ） 3. Google メール・ドライブ活用・インターネット検索 【情報倫理 2】情報発信と炎上、コミュニティサイトでの投稿注意、 取り消すのが難しいネットでの発信 4. Word 基礎 1（ページ設定、ページ番号等、図形描画） 【情報倫理 3】著作権の権利（財産権と人格権）について学び、著作物の扱いについて 5. エクセル基礎（表計算・セル計算平均・標準偏差・分散） 【情報倫理 4】アクセシビリティディスレクシア対応 6. エクセル基礎（countif、絶対セル指定。円グラフ、ワードへの形式選択貼り付け） 【情報倫理】著作権法の改正とネット配信・AI チャットボット・フィッシング、詐欺行為 7. エクセル基礎（countif、絶対セル指定。円グラフ、ワードへの形式選択貼り付け） 【情報倫理 5】フェイクニュースの社会への影響 8. Section1【Word 活用術】STEP1 ビジネス文書のポイントを押さえる【均等割り付け・ルビ】 【情報倫理 6】スマホとプライバシー）プライバシーの問題と「位置情報共有アプリ」 9. Section1【Word 活用術】STEP2 表で分かりやすくまとめる【表作成】 【情報倫理】Cookie でパーソナライズ あなたの意見は？ 10. Section1【Word 活用術】STEP3 図で魅せる【地図の作成・図形描画】 【情報倫理 7】Cookie でパーソナライズ 11. Section2【エクセル活用術】STEP1 書式を付けて見やすく編集【地図の作成・図形描画】 【情報倫理 8】スマホのマルウェア・電子署名の確認方法と仕組み、ソフトウェアアップデート 12. Section2【エクセル活用術】STEP2「厳選」関数を使いこなす【合計・平均・Round】 【情報倫理 8】フェイクニュースの社会への影響 13. Section2【エクセル活用術】STEP3 伝わるグラフを作成する 14. Section4【PowerPoint 活用術】STEP2 見やすいスライドを作る 15. Section4【PowerPoint 活用術】STEP3 魅力的に仕上げる 定期試験は実施しない。				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『教科書【リファレンス動画付き】つくりたい！がカタチになる 学生のための Office スキル活用&情報モラル 改訂版』：noa 出版（著、編集）				
事前学習の内容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	毎回の課題について提出条件を満たすレベルまで取り組む授業態度（20%） Classroom 課題（60%）、発表会（20%）				
履 修 上 の 注 意					

学 科	保育学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報機器の操作Ⅱ		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 目 標	【授業の主題】 オンライン講義で課題提出と提出確認ができるように講義する。 Google Workspace の基本アプリの PC とスマホでの利用を講義する。 Windows とワード・エクセル・パワーポイントの基礎を講義する。 【到達目標】 ・ オンライン授業における課題提出・受講方法を習得する。 ・ 実習を通してワード、エクセル、パワーポイントの操作法を習得する。 ・ 情報倫理を理解する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. Section1 練習学習『二次会開催のお知らせ』【図形描画・地図作成】 2. Section1 発展学習『クリスマスパーティーのお知らせ』【ワードアート・テキストボックス】 3. Section1 【Word 活用術】STEP4 レポートとして文章を整理する【スタイル・表紙・ページ番号】 4. Section1 【Word 活用術】STEP4 レポートとして文章を整理する【アウトライン・目次・表紙・脚注】 5. Section2 【Excel 活用術】STEP1 書式を付けて見やすく編集【3 桁区切り・和暦表示】 6. Section2 【Excel 活用術】STEP2 「厳選」関数を使いこなす【構成比・絶対参照・ROUND・RANK.EQ】 7. Section2 【Excel 活用術】効率化を図る【VLOOKUP 関数・IF 関数・AND 関数・OR 関数】 8. Section3 【Word】【レポートとして文章を整理する】【スタイル・アウトライン・目次・表紙】 9. Section3 【Word & Excel 活用術】STEP1 【Excel の表とグラフを貼り付ける】 10. Section3 【Word & Excel 活用術】STEP2 【データを連携させる】【差し込み印刷・横書き】 11. Section3 【Word & Excel 活用術】STEP2 【データを連携させる】【差し込み印刷・縦書き・テキストボックス】 12. MOS【Word】【第1回模擬プロジェクト】 13. Google フォームによるアンケート集計・分析（フォーム作成） 14. Google フォームによるアンケート集計・分析（アンケートの実施） 15. Web アンケート（Google サイト+Google フォーム） 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『教科書【リファレンス動画付き】つくりたい！がカタチになる 学生のための Office スキル活用&情報モラル 改訂版』：noa 出版（著、編集）				
事前学習の内容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	毎回の課題について提出条件を満たすレベルまで取り組む授業態度（20%） Classroom 課題（60%）、発表会（20%）				
履 修 上 の 意 注					

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報処理演習 I		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	選択必修	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目 標	【授業の主題】 オンライン講義で課題提出と提出確認ができるように講義する。 Google Workspace の基本アプリの PC とスマホでの利用を講義する。 Windows とワード・エクセル・パワーポイントの基礎を講義する。 【到達目標】 ・オンライン授業における課題提出・受講方法を習得する。 ・実習を通してワード、エクセル、パワーポイントの操作法を習得する。 ・情報倫理を理解する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	受講生がパソコンを実際に操作しながら、Windows、ワード、エクセル、パワーポイント、インターネット、電子メール等の基本操作に精通するように指導する。 1. PC へのログイン、Google Workspace/Google Classroom 2. Windows ファイル操作、USB メモリ保存/タッチタイピング 【情報倫理1】オンライン授業での心がけ（録画・スクショ） 3. Google メール・ドライブ活用・インターネット検索 【情報倫理2】情報発信と炎上、コミュニティサイトでの投稿注意 取り消すのが難しいネットでの発信 4. Word 基礎1（ページ設定、ページ番号等、図形描画） 【情報倫理3】著作権者の権利（財産権と人格権）について学び、著作物の扱いについて 5. エクセル基礎（表計算・セル計算平均・標準偏差・分散） 【情報倫理4】アクセシビリティディスレクシア対応 6. エクセル基礎（countif、絶対セル指定。円グラフ、ワードへの形式選択貼り付け） 【情報倫理】著作権法の改正とネット配信・AI チャットボット・フィッシング、詐欺行為 7. エクセル基礎（countif、絶対セル指定。円グラフ、Word への形式選択貼り付け） 【情報倫理5】フェイクニュースの社会への影響 8. Section1【Word 活用術】STEP1 ビジネス文書のポイントを押さえる【均等割り付け・ルビ】 【情報倫理6】スマホとプライバシー プライバシーの問題と「位置情報共有アプリ」 9. Section1【Word 活用術】STEP2 表で分かりやすくまとめる【表作成】 【情報倫理】Cookie でパーソナライズ あなたの意見は？ 10. Section1【Word 活用術】STEP3 図で魅せる【地図の作成・図形描画】 【情報倫理7】Cookie でパーソナライズ 11. Section2【エクセル活用術】STEP1 書式を付けて見やすく編集【地図の作成・図形描画】 【情報倫理】スマホのマルウェア・電子署名の確認方法と仕組み 12. Section2【エクセル活用術】STEP2「厳選」関数を使いこなす【合計・平均・Round】 【情報倫理8】フェイクニュースの社会への影響 13. Section2【エクセル活用術】STEP3 伝わるグラフを作成する 14. Section4【PowerPoint 活用術】STEP2 見やすいスライドを作る 15. Section4【PowerPoint 活用術】STEP3 魅力的に仕上げる 定期試験は実施しない。				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『教科書【リファレンス動画付き】つくりたい！がカタチになる 学生のための Office スキル活用&情報モラル 改訂版』：noa 出版（著、編集）				
事前学習の内容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	毎回の課題について提出条件を満たすレベルまで取り組む授業態度（20%） Classroom 課題（60%）、発表会（20%）				
履 修 上 の 注					

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	大原 啓市		
授 業 科 目	情報処理演習Ⅱ		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	選択必修	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 レポート、Web アンケートの集計分析ができるように演習を行う。 動画作成ができるように演習を行う。 【到達目標】 ・Web サイト作成の基礎を理解する。 ・Web アンケートの実施と分析を修得する。 ・実習を通して動画作成方法を習得する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. Section1 練習学習『二次会開催のお知らせ』【図形描画・地図作成】 2. Section1 発展学習『クリスマスパーティーのお知らせ』【ワードアート・テキストボックス】 3. Section1 【Word 活用術】STEP4 レポートとして文章を整理する【スタイル・表紙・ページ番号】 4. Section1 【Word 活用術】STEP4 レポートとして文章を整理する【アウトライン・目次・表紙・脚注】 5. Section2 【Excel 活用術】STEP1 書式を付けて見やすく編集【3 桁区切り・和暦表示】 6. Section2 【Excel 活用術】STEP2 「厳選」関数を使いこなす【構成比・絶対参照・ROUND・RANK.EQ】 7. Section2 【Excel 活用術】効率化を図る【VLOOKUP 関数・IF 関数・AND 関数・OR 関数】 8. Section3 【Word】【レポートとして文章を整理する】【スタイル・アウトライン・目次・表紙】 9. Section3 【Word & Excel 活用術】STEP1 【Excel の表とグラフを貼り付ける】 10. Section3 【Word & Excel 活用術】STEP2 【データを連携させる】【差し込み印刷・横書き】 11. Section3 【Word & Excel 活用術】STEP2 【データを連携させる】【差し込み印刷・縦書き・テキストボックス】 12. MOS【Word】【第1回模擬プロジェクト】 13. Google フォームによるアンケート集計・分析（フォーム作成） 14. Google フォームによるアンケート集計・分析（アンケートの実施） 15. Web アンケート（Google サイト+Google フォーム） 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『教科書【リファレンス動画付き】つくりたい！がカタチになる 学生のための Office スキル活用&情報モラル 改訂版』：noa 出版（著、編集）				
事前学習の内容	予め各授業回のテーマに沿った下調べを各自行うこと。 タッチタイピングの練習をしっかりと行うこと。				
事後学習の内容	各回授業で取り組んだ内容を復習する。				
評 価 の 方 法 基 準	毎回の課題について提出条件を満たすレベルまで取り組む授業態度（20%） Classroom 課題（60%）、発表会（20%）				
履 修 上 の 注 意					

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語 I (コミュニケーション)		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	保育 必修 服美 選択必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・前期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 本講義では、洋楽を通して英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しみながら、基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、文法問題や異文化トピックを扱ったリーディング、スピーキングなどのアクティビティを通して実践的な英語力の向上を目指す。 【到達目標】 ・ 英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむことができる。 ・ 英語の基礎的な語彙や表現、文法を習得することができる。 ・ 身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス / Talking to the Moon (Bruno Mars) 2. You're Beautiful (Maria Lawson) (1) 英語の発音記号・歌のリスニング 3. You're Beautiful (Maria Lawson) (2) リーディング・リスニング・スピーキング 4. I Want It That Way (Backstreet Boys) (1) 英語の品詞と機能・歌のリスニング 5. I Want It That Way (Backstreet Boys) (2) リーディング・リスニング・スピーキング 6. The First Time (Surface) (1) 動詞の時制・歌のリスニング 7. The First Time (Surface) (2) リーディング・リスニング・スピーキング 8. Complicated (Avril Lavigne) (1) 進行形・歌のリスニング 9. Complicated (Avril Lavigne) (2) リーディング・リスニング・スピーキング 10. My Heart Will Go On (Celine Dion) (1) 未来表現・歌のリスニング 11. My Heart Will Go On (Celine Dion) (2) リーディング・リスニング・スピーキング 12. You Are Not Alone (Michael Jackson) (1) 現在完了形・歌のリスニング 13. You Are Not Alone (Michael Jackson) (2) リーディング・リスニング・スピーキング 14. All I Want For Christmas Is You (Mariah Carey) 前置詞・歌のリスニング 15. まとめ・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	角山照彦 / Timothy F. Hawthorne (著)『ポップスでスタート！基礎英語』成美堂				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (40%)、発表 (10%)、試験 (50%)				
履 修 上 の 意 注	英和辞書を持参すること。				

学 科	保育学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅱ(コミュニケーション)		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 標 目	【授業の主題】 グローバル化の進展に伴い、保育現場においても外国につながりを持つ園児や保護者が増加している。本講義では、外国につながりを持つ園児の入園を想定したテキストを用いて、保育現場に必要な英語の基本的な語彙や表現を習得するとともに、外国につながりを持つ園児や保護者に英語で対応できる保育者の養成を目指す。 【到達目標】 ・保育の現場に必要な英語の基本的な語彙や表現を習得することができる。 ・遊びや活動などの場面で、英語で園児と簡単なコミュニケーションを取ることができる。 ・日常の保育や子どもの活動の様子について、保護者の方に英語で簡単な説明をすることができる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス / The School Year Begins 新学期・園の人々・園舎 2. Arrival 登園・家族 3. Playtime in the Classroom 室内あそび・欠席の連絡 4. In the Sandbox 外あそび・遊具 5. In the Playground 園庭・けんか 6. Lunchtime 昼食・献立表 7. Changing Clothes and Story Time 着替え・おはなし 8. Nap Time トイレ・お昼寝 9. Blowing Bubbles 病気・身体の名称 10. A Sick Child 緊急連絡 11. Preparation for the Sports Day 行事の案内状・電話連絡 12. The Sports Day 運動会・動作 13. Going for a Walk 散歩(1)地図 14. Discovering Autumn 散歩(2)交通 15. まとめ・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	森田和子著『新・保育の英語』三修社				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (30%)、小テスト (20%)、発表 (10%)、試験 (40%)				
履 修 上 の 意 注	英和辞書を持参すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅱ(コミュニケーション)		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	選択必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 グローバル化の進展に伴い、ファッション業界においても英語が必要不可欠になっている。本講義では、ファッションに関するテキストを用いて、ファッション特有の語彙や表現を習得する。また、リスニングやスピーキングなどのアクティビティを通して基礎的な英語力の向上を目指す。 【到達目標】 ・ファッションに関する英語の語彙や表現を習得することができる。 ・服の色や柄、素材などについて、英語で表現することができる。 ・ファッションのトレンドやコーディネートについて、英語で説明することができる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス / It's nice to meet you. 人との出会いに関する英語表現 2. What shall I wear? 服の種類を英語で表現 3. What color is it? 服の色や柄を英語で表現 4. What's made of it? 服の素材を英語で表現 5. Do they match? 服のコーディネートについて英語で表現 6. What's hot and what's not? ファッショントレンドについて英語で表現 7. What does he look like? 容姿や特徴について英語で表現 8. How often do you get a haircut? 日課について英語で表現 9. How do you make it? 裁縫について英語で表現 10. How much is it? ショッピングについて英語で表現 11. How does it fit? 小売販売について英語で表現 12. Break a leg! ファッションショーについて英語で表現 13. デザインした服に関する英語の資料作り 14. 発表 15. まとめ 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	小林悠子・マナル・グラント著『ファッションナブル・イングリッシュ』南雲堂				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (50%)、発表 (50%)				
履 修 上 の 意 注	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語Ⅲ		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	2 年次・前期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 本講義では、映画『ノッティングヒルの恋人』を視聴しながら英語の基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、リスニングやスピーキングなど様々なアクティビティを通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。 【到達目標】 ・ 英語特有の音声変化を理解し、簡単な英会話を聞き取ることができる。 ・ 基礎的な英語の語彙や表現を習得することができる。 ・ 身近な話題や日常会話に関して、自分の気持ちや考えを表現し、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス / William's Notting Hill & 'She' 語彙問題・スピーキング・内容把握 2. William's Notting Hill & 'She' ライティング・リスニング 3. Surreal, But Nice 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 4. 洋楽のリスニング(1) Money on My Mind (Sam Smith) 5. A Goddess Is A Movie Star 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 6. Birthday Party 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 7. A Date With Anna 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 8. 洋楽のリスニング(2) Break Free (Ariana Grande feat. Zedd) 9. She's Gone 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 10. She's Back 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 11. Rude Awakening—Ain't No Sunshine 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 12. 洋楽のリスニング(3) I Don't Think That I Like Her (Charlie Puth) 13. Like Me Again 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 14. The Right Decision 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 15. まとめ・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	Richard Curtis (著) 神谷久美子・Kim R.Kanel (編著) 映画総合教材『ノッティングヒルの恋人』新装版、松拍社				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (50%)、試験 (50%)				
履 修 上 の 意 注	英和辞書を持参すること。				

学 科	両学科	担 当 教 員	松浦 加寿子		
授 業 科 目	英語IV		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	2 年次・後期
授 業 の 主 題 目 標	【授業の主題】 本講義では、映画『ラブ・アクチュアリー』を視聴しながら英語の基礎的な語彙や表現を習得し、身近な話題や日常生活に関して、英語で簡単なコミュニケーションが取れるようになることを目的とする。また、リスニングやスピーキングなど様々なアクティビティを通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。 【到達目標】 ・ 英語特有の音声変化を理解し、簡単な英会話を聞き取ることができる。 ・ 基礎的な英語の語彙や表現を習得することができる。 ・ 身近な話題や日常会話に関して、自分の気持ちや考えを表現し、英語で簡単なコミュニケーションを取ることができる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス / Love Actually is All Around (1) 語彙問題・スピーキング・内容把握 2. Love Actually is All Around (2) ライティング・リスニング 3. Agony of Being in Love 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 4. Feel Uncomfortable? 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 5. Have You Gone Completely Insane? 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 6. 洋楽のリスニング (1) Last Christmas (Wham!) 7. 洋楽のリスニング (2) Happy Xmas (John Lennon) 8. 洋楽のリスニング (3) Santa Tell Me (Ariana Grande) 9. It's for You 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 10. You're Beautiful 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 11. All I Want for Christmas is You 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 12. The Time to Be With the People You Love 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 13. All I Want for Christmas is You 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 14. Let's Review!! 語彙問題・スピーキング・内容把握・ライティング・リスニング 15. まとめ・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	Richard Curtis (著) 仁科恭徳 (監修) 藤原康弘・鎌倉義士・吉川裕介 (編著) 映画総合教材『ラブ・アクチュアリー』松拍社				
事前学習の内容	必ず予習をして臨み、未知の単語があれば調べておくこと。				
事後学習の内容	授業で学んだ語彙や表現を復習しておくこと。				
評 価 の 方 法 基 準	課題 (50%)、試験 (50%)				
履 修 上 の 意 注	英和辞書を持参すること。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	石井 成人		
授 業 科 目	フランス語 I		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	演 習	開 講 時 期	1、2 年次・前期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 外国語として既習の英語とはまた異なる第二外国語の基本文法について、一般教養として確認していく。一般的ヨーロッパ各国言語の基本的な文法内容（男性名詞、女性名詞、動詞の活用変化等）をフランス語で経験する。 【到達目標】 ・英語と同じアルファベットで表記されるフランス語の発音を習得する。 ・主要各国言語で一般的な主語に対する様々な動詞活用変化に対する教養を、フランス語で経験、獲得する。 ・学習した基本文法をふまえて、簡単なフランス語日常会話にふれて自分の言葉として運用する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス 2. 冠詞と名詞：不定冠詞・定冠詞、男性名詞・女性名詞 3. 演習（冠詞と名詞） 4. ER 規則動詞：主語に対する動詞の規則的活用変化 5. 演習（ER 規則動詞） 6. 否定形・疑問形：フランス語での否定・疑問文の作り方 7. 演習（否定形・疑問形） 8. 不規則動詞 AVOIR：主語に対する不規則な動詞（英語 have-）の活用変化 9. 演習（不規則動詞 AVOIR） 10. 不規則動詞 ETRE：主語に対する不規則な動詞（英語 be）の活用変化 11. 演習（不規則動詞 ETRE） 12. 形容詞の性・数一致：男性・女性名詞に対応し変化する形容詞 13. 演習（形容詞の性・数一致） 14. まとめ(学習してきた文法内容全体の再確認) 15. 総復習・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	教室にてプリント配布、また参考書・辞書等指示予定 （例参考：『プチロワイヤル仏和辞典』（旺文社））				
事前学習の内容	講義の中で学習済み仏語文法項目を確認しつつ、次の学習準備を（学習システム・Classroom を利用しながら）毎回指示していく。				
事後学習の内容	講義の中で学習済み仏語文法項目をふまえて、実際に具体的な再確認の課題を（学習システム・Classroom を利用しながら）毎回指示していく。				
評 価 の 方 法 基 準	通常講義内でのフランス語学習の取り組み（30%）、課題評価（30%）、学期内で複数回予定の小試験（20%）、定期試験（20%）の総合評価				
履 修 上 の 注 意	前後期通じて第二外国語・フランス語の学習を行うので、基本的に後期は、前期履修者、または過去にフランス語学習経験あり、の者を受講要件とする。				

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	石井 成人		
授 業 科 目	フランス語 II		科目区分	基礎科目	2 単 位
必 修 ・ 選 択	選択	授 業 形 態	講 義	開 講 時 期	1、2 年次・後期
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 外国語として既習の英語とはまた異なる第二外国語の基本文法について、一般教養として確認していく。一般的ヨーロッパ各国言語の基本的な文法内容（男性名詞、女性名詞、動詞の活用変化等）をフランス語で経験する。 【到達目標】 ・英語と同じアルファベットで表記されるフランス語の発音を習得する。 ・主要各国言語で一般的な主語に対する様々な動詞活用変化に対する教養を、フランス語で経験、獲得する。 ・学習した基本文法をふまえて、簡単なフランス語日常会話にふれて自分の言葉として運用する。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. ガイダンス 2. 仏語動詞半過去形 3. 演習（時制活用練習） 4. 仏語動詞・複合過去形（助動詞 ETRE の複合過去） 5. 演習（助動詞 ETRE 過去形活用練習） 6. 仏語動詞・複合過去形（助動詞 AVOIR の複合過去） 7. 演習（助動詞 AVOIR 過去形活用練習） 8. 人称代名詞 9. 演習（代名詞書き換え練習） 10. 仏語動詞・未来形 11. 演習（未来形活用練習） 12. 代名動詞その1（代名動詞の現在形） 13. 代名動詞その2（代名動詞の複合過去形） 14. 演習（代名動詞仏作練習） 15. 総復習・試験				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	教室にてプリント配布、また参考書・辞書等指示予定 （例参考：『プチロワイヤル仏和辞典』（旺文社））				
事前学習の内容	講義の中で学習済み仏語文法項目を確認しつつ、次の学習準備を（学習システム・Classroom を利用しながら）毎回指示していく。				
事後学習の内容	講義の中で学習済み仏語文法項目をふまえて、実際に具体的な再確認の課題を（学習システム・Classroom を利用しながら）毎回指示していく。				
評 価 の 方 法 基 準	通常講義内でのフランス語学習の取り組み（30%）、課題評価（30%）、学期内で複数回予定の小試験（20%）、定期試験（20%）の総合評価				
履 修 上 の 注 意	前後期通じて第二外国語・フランス語の学習を行うので、基本的に後期は、前期履修者、または過去にフランス語学習経験あり、の者を受講要件とする。				

学 科	両学科	担 当 教 員	濱田 雄仁		
授 業 科 目	健康科学概論		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	保育 必修 服美 選択	授 業 形 態	講義	開 講 時 期	1 年次・通年 (1/4)
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 健康を支える要素として、主に運動・スポーツを取り上げ、体力の保持増進やストレス解消、レクリエーションといった機能を体験的に理解する。※授業は、後期の12月頃から7回行います。 【到達目標】 ・スポーツ・運動が心身に与える影響について説明できる。 ・スポーツ・運動の効果的な行い方について理解できる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。				
授 業 の 内 容 進 め 方	1. 授業ガイダンス、ペアストレッチングの効能の実践的理解 2. 運動・スポーツの意義：体力や生活リズムの向上、ストレス解消等の実践的理解 3. 体力の向上のためのトレーニングの実践的理解 4. 自己の体力の理解①体力テストの実践 5. 自己の体力の理解②体力テストの評価 6. 体力の向上を意図した運動・スポーツ 7. レクリエーション機能を重視した運動・スポーツ 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部） 必要に応じて、適宜資料を配布する。				
事前学習の内容	普段から生活リズムを整え、自己の健康の保持に努めること。				
事後学習の内容	テキストや配布資料を見直すとともに、授業で扱った内容を復習すること。				
評 価 の 方 法 基 準	ワークシート (50%) レポート (50%)				
履 修 上 の 注 意	本授業は通年科目のため、履修登録は前期に行うこと。なお、「スポーツ」と内容を組み合わせて行うため、服飾美術学科の学生は、「スポーツ」を履修せずに、本授業のみを履修することはできません。				

学 科	両学科	担 当 教 員	濱田 雄仁		
授 業 科 目	スポーツ		科目区分	基礎科目	1 単 位
必 修 ・ 選 択	保育 必修 服美 選択	授 業 形 態	実技	開 講 時 期	1 年次・通年 (3/4)
授 業 の 主 題 目	【授業の主題】 様々なスポーツの実践を通じて、運動・スポーツに親しむ姿勢を育むとともに、必要な技能を身に付け、体力の保持増進を図ることを目指す。※授業は、前期から後期中頃までの 23 回で、体育館で実施する。 【到達目標】 ・各種スポーツの知識・技能を身につける。 ・各種スポーツのルール等を理解し、実践することができる。 ・体力を保持増進する方法について理解できる。				
授 業 の 内 容 方 進 め 方	1. 授業ガイダンス、ドッジボール 2. アルティメット①：基礎的技能の練習 3. アルティメット②：応用的技能の練習 4. アルティメット③：ゲームとスキルテスト 5. フットサル①：基礎的技能の練習 6. フットサル②：応用的技能の練習 7. フットサル③：ゲームとスキルテスト 8. 卓球（ダブルス）①：基礎的技能の練習 9. 卓球（ダブルス）②：応用的技能の練習 10. 卓球（ダブルス）③：ゲーム 11. 卓球（ダブルス）④：ゲームとスキルテスト 12. ソフトバレーボール①：基礎的技能の練習 13. ソフトバレーボール②：応用的技能の練習 14. ソフトバレーボール③：ゲーム 15. ソフトバレーボール④：ゲームとスキルテスト 16. バドミントン（ダブルス）①：基礎的技能の練習 17. バドミントン（ダブルス）②：応用的技能の練習 18. バドミントン（ダブルス）③：ゲーム 19. バドミントン（ダブルス）④：ゲームとスキルテスト 20. バスケットボール①：基礎的技能の練習 21. バスケットボール②：応用的技能の練習 22. バスケットボール③：ゲーム 23. バスケットボール④：ゲームとスキルテスト 定期試験は実施しない				
実 務 経 験 を 活 か す 内 容					
テ キ ス ト 教 材	『大学生のスポーツと健康生活』（福岡大学スポーツ科学部） 必要に応じて、適宜資料を配布する。				
事前学習の内容	普段から軽い運動（体操やストレッチ、ウォーキング等）を行い、体力や体調の維持に努めること。 各種目の基本的なルールについて予習しておくこと。				
事後学習の内容	テキストや配布資料を見直すとともに、授業で扱った内容を復習すること。				
評 価 の 方 法 基 準	ワークシート (20%) スキルテスト (80%)				
履 修 上 の 注 意	寒暖差の大きい体育館で身体的負荷の大きい運動を行うため、教員の指示に従い、意欲的に取り組むこと。 運動ができる服装、体育館用シューズ、タオル、水分補給用の飲み物を準備して臨むこと。				